SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 – 地域版

発行日: 平成31年3月15日(金) (2019年)

地域企業紹介 № 60 AZAエンジニアリング株式会社 あらゆる設計により、 お客様の理想を形に

「ワクワクする会社作り」を目指していますと明るく語るの は、相模原市中央区鹿沼台に本社を構え、精密機械・電気設 計・ソフト設計を主な事業としているAZAエンジニアリング 株式会社代表取締役の長谷川孝社長だ。法人設立は1989年 10月(平成元年)、今年で設立30周年を迎える市内企業だ。 社名の由来は、A =初めから、Z=最後まで責任を持ち、A= 初心を忘れずに常に成長し続ける「A to Z to A」という意味 が込められ、全社一丸となって挑戦する「ハイレベルな総合 エンジニアリング会社」を目指している。

設立以来、真空装置の設計・開発を得意としてきた同社は、 現在「エンジニアリング事業部」に加え、「アミューズメント事 業部」「デザイン事業部」「コスメティック事業部」の4部門で 事業展開をしている。主軸事業であり売上の6割程度を占め るエンジニアリング部門では、真空装置の設計・開発をはじ め、機械設計・電気設計・制御設計・ソフト開発・製造など幅 広く事業展開し、組立冶具から自動機全体までの「構想・設 計・開発・導入」すべての工程を一括して請負うことが出来る のが同社の大きな特徴だ。この一貫体制により、お客様の 様々なご要望・ニーズにお応えすることはもちろん、業務の進 行ごとに窓口が変わる煩わしさもなく、スピーディーかつ製 造に係るコスト低減も実現している。その他、展示会・プレゼ ン用の3Dモデリング作成、構造物にかかる荷重や構造に生 じる変位・応力・ひずみなどの関係を明らかにする構造解析 なども手掛けている。このように長年にわたり培ってきた設 計技術力や信頼関係などをもとに半導体製造装置メーカー をはじめ、PV,FPD、有機EL,ロボット関連の産業機械メー カーなど中小企業から大手まで数多くの優良取引先を有して いる。また、売上シェア30%程度を占めるアミューズメント部 門では、浅草花やしきをはじめとする有名テーマパークの総 合技術コンサルティング、各種遊戯及び駆動展示物の製作、演 出装置の企画・開発・監修・設計・施工・認可申請・メンテナン スから労働者派遣までを手掛けている。これまで、園内イルミ ネーション設計、ジェットコースター立上げ支援、お化け屋敷 や展示ロボットなど多くの制作例や技術協力の実績がある。



そんなAZAエンジニアリングを率いる長谷川社長は、身長180センチ超えのスリムな体型にスーツ姿がよく似合う社長だ。滋賀県出身で小学生時代からは相模原を生活基盤としており、高校時代は若干"やんちゃ"な時期もあったそうだ。就職は流量計・ホース継手製造などで実績のある株式会社リガルジョイントに入社、同社在籍中は日本電気グループ会社の技術部に派遣社員として常駐、徹夜の毎日で時には月間200時間を超える残業をこなしながら設計技術を約5年間みっちり学んだ。そして、その頃に長谷川社長がカリスマ技術者として活躍されていた宮川氏(前代表者)と知り合い、人柄と技術に惚れ込み、「一緒に仕事がしたい」と熱烈なオファーをかけたことが法人設立のきっかけだそうだ。その後、長谷川社長は、宮川前社長とともにエンジニアリング事業を中心に実績と信頼を積み重ね、2015年に代表取締役社長に就任した。

自己啓発・ビジネス本を年間150冊以上も読むなど自己研鑽に余念がない長谷川社長は、経営を学ぶ一手段として、2015年度SIC経営塾を受講、約9か月間かけて自社の事業構想(計画書)を作成。その経営基本方針には、働く社員全員が充実し「働き甲斐のある会社作り」「ワクワクする会社作り」という社員第一主義の実現を明確に示している。「その実現はかなり難しいことですが、同時にとても大切なこと」だと長谷川社長。

社員のスキルアップを目的とした様々な取組を導入、家族のため、特別な記念日に取得するメモリアル休暇の制定、仕事に最適な環境作り・

BGM、健康管理の一助としたラジオ体操・健康促進手当の取り入れなどなど、社員の幸せのために良いと思われるものは何でも取り入れている。デザイン事業部が得意とする漫画を取り入れて製作したクレド(信条)では、社長の経営ビジョン・ミッションを受けて、具体的な企業価値を社員が主体的に考え作成している。また、社員同士が"自由"にディスカッションできる職場環境の再構築なども社員の「働き甲斐」に繋がっているのではないだろうか。

こうした経営基本方針をベースに代表取締役就任後の4年間で、毎年、新事業の立ち上げに挑戦。就任当時、エンジニアリング部門のみであった同社の事業は、アミューズメント事業部、デザイン事業部、コスメティック事業部の3部門を新たに立ち上げ、従業員数は20名から40名(2倍)、取引先も5社から50社(10倍)へと大きく成長させた。売上高も1.7億円から3.3億円(約2倍)となり、自ら構想した事業計画を確実に実行、今年度の売上高は4億円となる見込みだ。

着実に成長を続けるAZAエンジニアリング、その強みは「30年にわたる業歴」・「30台以上ある3DCAD」そして何よりも「30人以上の優秀な技術者」のいるトリプルスリーですと長谷川社長。

代表取締役就任5年目、法人設立30年目の節目を迎える長谷川社長は、今後、デザイン部門及びコスメティック部門の充実と拡大に意欲を燃やす。他社にない品質と提案力を武器に常に前進を続けるAZAエンジニアリングの新たな挑戦はまだまだ続く。

6 2

「皮膚科学研究の面白さを伝えたい!」

株式会社CIEL



皮膚医療の研究や技術コンサルティング業務 などを行う株式会社 C I E L 「さがみはらリ サーチセンター」責任者の水谷多恵子博士(右か ら2人目)にお話を伺いました。

同社は、"研究所を持つコンサルティング"をコンセプトに2013年に法人設立されました。事業内容は『皮膚』をターゲットとする研究で、外用剤やその原料開発の研究コンサルティング、または若手研究員の研究指導、受託研究を行っています。化粧品などの商品コンセプト開発など、ソフト面のコンサルティングも行い、主なクライアント先は大手・中小の医薬品・化粧品の

メーカーおよび原料メーカーです。

水谷さんは、設立当初、東京工科大学の光老化研究室で研究生として研究業務を行っていました。事業領域が広がり、機器や設備が増えてきたこともあって、夢の第一歩として、自社研究室を持つことを決断し、東京工科大学の近くのラボとしてSICを選び、管理部門のある本社が東京都内のオフィスにあることから、SICラボは"さがみはらリサーチセンター"として開所しました。

化粧品ビジネスはハードウエアとして科学的なデータが求められる一方、ユーザーの情緒に効果的に働きかけるマーケティング思考も重要です。先端の皮膚科学に向き合いながら人と人とを結んでいく仕事を通して、さらに多くの人の化粧品にかかわる技術の育成に貢献していきたいと、水谷さんは、しなやかに力強くお話しくださいました。



無菌的に細胞培養をする装置の中で皮膚に由来する様々な細胞や、3次元培養皮膚モデルを 用いた研究を行っています。



顕微鏡から細胞がこの ように見えます。



CIEL"とはフランス語で空(そら)を意味し、科学技術の可能性を広く追求するという思いが込められています。

株式会社CIEL さがみはらリサーチセンター SIC1-204号室 URL: https://ciel-tokyo.com/

What is "Incubation"?

SICの特徴ある事業とその担当者の紹介を通じ、インキュベーションセンターとは何かをお伝えしてまいりました。締めくくりの今回は、産業支援機関の地域連携についてご紹介します。

2月18日から、ものづくり補助金の公募が始まりました。その申請には、認定支援機関の確認書が必要です。また、昨年から導入され、固定資産税が減免となる先端設備導入計画の申

請においても、認定支援機関による確認が求められています。今回は、認定支援機関でもある産業支援機関の活用についてご案内いたします。

1.認定支援機関・産業支援機関とは

中小企業の経営課題が多様化・複雑化する中で、平成24年8月に「中小企業経営力強化支援法」が施行され、中小企業に対して専門性の高い支援業務を行う経営革新等支援機関を認定する制度が創設されました。国に認定された支援機関が認定経営革新等支援機関となり、通称、「認定支援機関」と言われています。

産業支援機関とは、一般的には地域の産業振興に関する様々な業務を担う財団等の公的支援機関を指しますが、民間の士業の方やコンサルタント(法人等)も広義の産業支援機関です。また、銀行、信用金庫などの地域金融機関も、最近では、金融以外での中小企業支援にも力を入れているので、産業支援機関と言えます。

産業支援機関の多くは、認定支援機関と認定されています。

2.相模原市の産業支援機関

市内には、相模原商工会議所をはじめ、相模原市産業振興財団、 4商工会(城山、津久井、相模湖、藤野)、さがみはら産業創造センター(SIC)があります。さらに、地域金融機関の支店も数多くあり、 他の自治体と比べて、多くの産業支援機関があります。

3.産業支援機関を「自社の外部ブレーン」として活用しよう。

- ①自社の相談相手になってもらう。
- ②自社にとって必要な情報を提供してもらう。
- ③自社の補助金等の申請書作成についてアドバイスをもらう。

大企業と比べて人的資源に制限のある中小企業においては、経営者や経営幹部の方は数多くの業務に携わっており、自らが製造現場に入るなど陣頭指揮を執っていることが少なくありません。そのよう

な状況では、国等の補助金や助成金や各種セミナー等の情報をタイムリーに取得することが難しい時もあります。特に、補助金等は申請期限が決まっていることや、また、作成すべき申請書類が複雑になっていること等、公募要領等を一読しただけでは対応が難しいのが現状です。

そこで、自社の外部ブレーンとして、産業支援機関を活用すること を勧めます。

産業支援機関は、対象としている地域や会員の全ての企業の詳細な情報を知っているわけではありません。一方、各機関ともに事業や施策の対象先を探しています。そこで、日頃から産業支援機関へ様々な相談を通して交流し、自社の現状や課題等を伝えておくことが一つの方法です。

現在、メールマガジン等で数多くの企業向けの情報が発信されていますが、自社の課題等を知っている産業支援機関であれば、それぞれの企業に適した有効な情報を提供してくれます。また、その後の申請等についても、積極的にアドバイスを行ってくれます。

産業支援機関は、企業を支援し、企業の成長を通して、地域経済が活性化することを目的としています。企業の皆様からのご相談をお待ちしています。

中村 浩 (なかむら ひろし)



秋田県出身。大学卒業後、八千代信用金庫(現、きらぼし銀行)に入庫し、融資や営業を担当する。在職中に中小企業診断士を取得。2002年SICに出向派遣、その後、転籍し総務部長を務める。2011年に相模原市産業振興財団に出向し、現在、事務局長を務めている。

SICでは経営塾を担当し、2019年は第18期生を迎える。

ちゃんこ料理 「かし山」

小田急線相武台前駅南口徒歩3分、ちゃんこ料理「かし山」があります。 創業から46年、気さくなご主人と変わらぬ味が地元の人に愛されています。

ちゃんこ鍋を中心に人気のある料理をいただきました。シロコロのもつ煮ともつ焼き、山芋と豆腐のお好み焼き、手作り餃子など。どの料理にもお客と作り上げてきた美味しさが染み込んでいます。メインは、みそ味の豚肉のちゃんこ鍋。変わらぬ優しい味は33年前に友人と食べた若き日を思い出させてくれました。ごっちゃんでした。(稲垣)

神奈川県座間市相武台4丁目4676-19 Tel.046-253-9653 営業時間:17:00~23:00(日曜日も営業しています) 定休日:月曜日





2019年9月入居開始! SIC-2增築棟(仮称)

入居企業を募集しています!

SICでは、既存のSIC-2に新たに増築棟(仮称)を増築し、 研究開発型企業向けのフレキシブルなラボを提供いたします。

対象企業

ロボット、バイオをはじめとする成長産業分野において、 研究開発の事業化を目指す次のいずれかの企業

- インキュベーション施設での創業期を経て、 さらなる規模拡大を目指す企業
- 新技術や新製品の研究開発を進め、 さらなる規模拡大を目指す企業
- 新分野進出により さらなる規模拡大を目指す中小企業
- 企業の研究開発部門
- 大学や企業間の連携による事業化を目指して 共同研究開発を行うグループ

入居期間

入居期間

: 2019年9月 入居開始 : 5年間(再契約可)

※契約は、「定期建物賃貸借契約」です。※再契約の際は、再度審査があります。

7つの特徴

研究開発に適したラボ

ビジネスサポート

ドライからウェットまで 対応するマルチなセミラボ

アクセス

屋上・サービスバルコニー

セキュリティ

共用スペース

3月15日現在

空き室は、13部屋です。

【問い合わせ先】

詳しくは、お問い合わせください。

株式会社さがみはら産業創造センター 総務部 担当 大谷・稲垣 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21

URL: https://www.sic-sagamihara.jp/

電話:042-770-9119 E-mail:koho@sic-sagamihara.jp

2019.3 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

3月20日(水) ジョブミーツ(合同就職説明会)18th 4月25日(木) ジョブミーツ(合同就職説明会)19th 6月 8日(土) SIC職場リーダー養成塾開塾(予定)

6月15日(土) SIC経営塾開塾(予定)

詳しくは、SICホームページをご覧ください。 https://www.sic-sagamihara.jp

編 集 後 記 平成30年度の締め括り、そして、平成31年度(新元号は、 まもなく発表です)がスタートします。SICでは、ただ今、 平成31年度の職場リーダー養成塾及び経営塾の募集パン フレットを準備中です。近日中にホームページへアップ となる予定です。ぜひ、4月からの研修としてご検討くだ さい。また、SIC-2増築棟の入居企業を募集中です。SIC近 くの河津桜が満開のように多くの企業に入居いただき、 増築棟の満室を目指します。

さて、次回のかわらばんは、新元号でお届けいたします。

入居企業を募集してます。

SIC空室情報 (平成31年3月15日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

	部 屋	空室数	賃料/月額 (共益費込・消費税抜き)
SIC-1	○スモールオフィスA(23.6㎡)	3	78,700円
SIC-2	空室はありません	-	-
SIC-2 増築棟 (仮称)	○セミラボ(63.18㎡)	13	250,200円
SIC-3	空室はありません	-	-



(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 E-mail: koho@sic-sagamihara.ip

ご意見・ご感想をお待ちしています。

ウェブサイト https://www.sic-sagamihara.jp/